

次年度に向けての取組み目標と具体的な取組み方策

令和3年度取組み目標と方策			
評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
[1] 教育活動 (教務)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力の向上 ・真摯で積極的な勉学姿勢の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝課外，放課後課外を中心に，それとは別に Zoom やオンラインの学習教材開発も進めていく。 ・新しい指導要領に応じたカリキュラムの開発運営を通じて，真の学力，教養を身に付けさせる。 ・理系インタークラスを中心に，SAT などで入学した優秀な生徒に対応した課外を実施する。 ・教師一人ひとりの授業に対する研修機会を設け，授業力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GW 前後での課外申し込みの開始 ・年間を通じた教科会における研修 ・研鑽の実施 ・難関大対策課外の1年生からの実施 ・毎週の教科会の在り方の検討
[2] 教科指導 (各教科)	<ul style="list-style-type: none"> ・前期課程の基礎学力の向上 ・上位層の引き上げ ・新指導要領に対応した評価方法の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・D ゾーンの生徒をなくし，授業や課外授業で生徒の学力の向上を図る。 ・上位層に対して，東大対応のプロジェクトを立ち上げ，低学年の段階から意識付けを行う。 ・新しい学習指導要領に応じた評価の方法を策定し，定期テストや日々の学習において多面的な評価を実施できるよう運営する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年による学習困難生徒の支援 ・東大プロジェクトの発足 ・定期考査などの問題内容を検討し，時代に即した問題へ改編する
[3] 学校生活 への配慮 (生徒指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・公正な精神を涵養するための指導の展開 ・生徒手帳の活用 ・いじめの芽の発見と早期対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する世界の中で，しっかりとした，知識と経験をもとにした公正な精神を涵養するべく指導を行う。 ・今年度から生徒手帳型となったルールブックを活用し，本校らしい立ち居振る舞いとは何かを共有し，生活指導に役立てる。 ・仲間同士の「いじり」の段階で問題を発見し，早期対応することで，いじめの撲滅を果たす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の積極的展開 ・日常的な生徒手帳の活用 ・生徒観察の実施と年2回のアンケートの実施
[4] 生徒会・ 部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の充実 ・部活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の取組みにおいて，生徒が中心となり素晴らしい成果を挙げつつある。コロナ禍の中でもオンラインなどを活用し，本校らしい行事を実践していく。 ・運動部40%，文化部20%の加入を目指す。特に前期課程ではより部活動への加入者を増やし，居場所づくりをしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を見据えた行事の実施計画の早期策定 ・部・サークル紹介，仮入部の実施

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
[5] 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいタイプの入試への対応 ・進路計画の策定 ・東大合格プロジェクトの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会を読み解く力を育成し、新時代の入試に対応する力を育成する。 ・進路計画を細やかに設定することで、様々な進路の要望に応えることができる体制を構築する。 ・難関大学の受験に対応できる体制を構築し、定常的に進学を果たせるシステムを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた進路講演会の実施 ・医歯薬系講演会など学部ごとの説明会の実施 ・受験指導の組織化と運営
[6] 保健・衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な健康診断の実施 ・健康管理の支援 ・教育相談の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護をマニュアル化して安心して保健活動が出来るようにする。また、健康診断等でのプライバシー保護を徹底する。 ・欠席報告をオンライン化し、連続欠席に対して早期に対応することで長欠を防ぐ。 ・前期課程、後期過程生徒の生活に関する調査結果を積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中での安全な健康診断の早期実施と運営 ・4月からオンラインによる欠席連絡の実施。
[7] 図書	<ul style="list-style-type: none"> ・入試資料の刷新と充実 ・図書館利用率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の受験傾向を捕らえ、新学力型入試に対応した参考書等の充実を図る。 ・生徒の教養を向上させる取り組みとして、専門的な内容に踏み込む書籍の充実を図る。 ・library 委員会だけでなく、各学年の発達段階に応じた読書指導を展開していくとともに、進路指導など他分掌とも連携して読書指導を展開する。 ・利用頻度の高い新書および時事関連資料を増強し提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月段階での進路指導部による図書購入計画の実施。 ・日常的な委員会活動の活性化と学年による読書指導の実践。
[8] 広報	<ul style="list-style-type: none"> ・塾訪問のシステム化 ・入試方法の整理 ・広報活動の戦略化 	<ul style="list-style-type: none"> ・入試の難易度の上昇とともに、新たな生徒の層に受験・入学をしてもらえるように、綿密な広報活動を行う。 ・複雑化した入試を整理し、本校に入学したい生徒を適切に募集できる取り組みを進める。 ・本校の強み、今後の方向性を示すことで、伸びている私学としての姿を内外に示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1のエリア会議の開催 ・4月の入試委員会の開催 ・コロナ禍での広報活動の柔軟な対応
[9] 管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育方針の策定 ・組織の意識改革の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・新校長による学校教育方針に則り、学年経営案を策定し、学級活動に浸透するように働きかける。 ・組織的に教育活動が出来るように、研修研鑽を行い、主任の権限の方向性と意識改革を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春の研修における組織内での業務内容の精選と管理運営 ・春夏の主任研修の実施と運営

評価項目	取組目標	具体的取組方策	取組スケジュール
[10] 庶務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者と教師の会の活性化 ・ 就業規則の遵守 ・ 事務処理作業の監督及び支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者と教員が一致した方向で子どもたちの教育環境を支援する体制づくり。 ・ 就業規則に基づいた、しっかりとした労務管理の実施を行うことで、私学の教員としての自覚を促す。 ・ 事務処理の効率を上げ、スムーズに申請が行えるように、教職員の事務処理の監督 ・ 支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春の段階での保護者会，役員会，定期総会の運営 ・ 事務処理を促すための日常的な連絡の徹底